

トライアングルエヒメ公募型DXイノベーション愛媛プロジェクトについて

トライアングルエヒメ推進事業の活動成果を踏まえ、複数市町に跨る共通・広域課題の解決に取り組み、課題解決モデル事例となることを目指す『公募型DXイノベーション愛媛プロジェクト』をR5年度から始動

【プロジェクト事業化までの手順】

①県が複数市町で取り組むべき広域課題を把握、深掘りして分析



②広域課題を解決し得るデジタルソリューションを公募し、日本全国の企業から応募あり
※合計94社、54プロジェクト



③応募プロジェクトのうち、市町の課題解決に最も合致する企業を伴走支援候補として選定し、内容を更に精査したうえで、市町への提案プランを作成



④提案プランが課題に合致した市町において、令和6年度に事業化・実装を予定
※7市町、3テーマを県が伴走支援

【課題解決プロジェクト】



①転出者との関係性構築

市町出身者向け専用アプリによる転出者との関係性構築と愛媛ファンの創出加速



②就業・移住体験の創出

旅をしながら働きたい若者と担い手不足に悩む地元事業者とのマッチング支援



③空き家活用と住居確保

デジタルサービスにより空き家活用を推進し、旅行者の滞在先や移住希望者の住居を確保



愛媛ファンの創出

市町単独では解決困難な課題を広域で実施
→スケールメリットを生かし、事業の継続性・効果を最大化

デジタルサービスと親和性の高い本県出身若年層を起点に、愛媛の魅力を広く認知、浸透させ、観光による来県者や移住の増加、ふるさと納税の促進などに繋げる。